

奈良県スポーツ推進計画

～ Sports for Everyone with Smile ～



● 計画の理念と目標 ●

本計画は、奈良県民が気軽に運動・スポーツに取り組むためのマスタープランとして、奈良県全体で運動・スポーツを推進し、「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現を目指します。

< 目指す姿 >

生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県

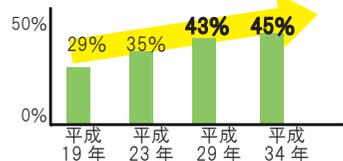


基本目標

だれもが、いつでも、どこでも
運動・スポーツに親しめる環境づくり

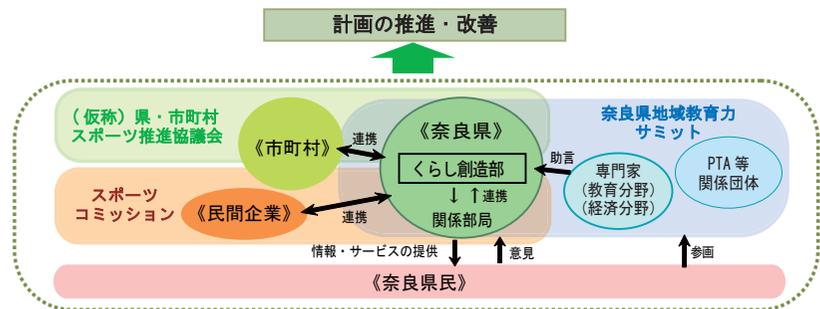
【実現のための参考指標】

1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合



● 計画の推進体制 ●

- 県と市町村、民間等の連携を強化するため、新たに「(仮称)県・市町村スポーツ推進協議会」の設置やスポーツコミッションなど民間レベルによる推進体制の構築、検討を進めることにより、県全体でスポーツの推進に取り組みます。
- また、本計画に掲げた施策を進めるに当たっては、計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→見直し(Action)というマネジメントサイクルを踏まえ、取り組みます。



(発行) 平成25年3月 奈良県くらし創造部 スポーツ振興課



● 計画策定の趣旨 ●

- 奈良県では、県民一人ひとりが健康づくりに取り組み、生涯にわたり、『生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県』を実現するため、これまでの計画から更なる一歩を踏み出し、新たな「奈良県スポーツ推進計画」を策定しました。
- この計画は、**運動・スポーツの推進に、県民全体で取り組むための指針**となるものです。

● 計画の期間 ●

- 目標年度を**平成34年度**とし、社会情勢や県の取組み状況などを踏まえ、5年後に見直しを行います。

施策の体系と内容

I だれもがいつでも楽しめるスポーツ

健康長寿の礎となる健康体力の向上と、スポーツを通じて人格形成や青少年の健全育成を図るため、障害のあるなしに関わらず、すべての人が運動・スポーツをしたい時に、どこでも、気軽に楽しむことができる環境づくり・仕組みづくりに取り組めます。



【指標と目標数値】

指標	現状 (H24)	10年後 (H34)
総合型地域スポーツクラブの会員数	10,355人	70,000人
総合型地域スポーツクラブ数	55クラブ	150クラブ
スポーツ指導者（日体協公認）	2,751人	4,000人
1日に1時間以上、運動・スポーツをする児童・生徒の割合	小学5年生：45% 中学2年生：67%	55% 75%

【基本施策】

1 総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり

- ①スポーツ支援センターの機能の強化
- ②総合型地域スポーツクラブの活動の充実

2 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

- ①子どもの運動・スポーツの推進
- ②成人期の運動・スポーツの推進
- ③高齢期の運動・スポーツの推進

3 障害者の運動・スポーツの推進

- ①運動・スポーツに取り組む機会（参加する機会）の充実
- ②障害のある人とない人が交流できる取組みの推進
- ③身近な地域でスポーツができる環境づくりの推進
- ④障害者スポーツ指導者等の養成

4 スポーツを支える環境づくり

- ①スポーツ指導者の確保、養成
- ②スポーツ情報の提供
- ③スポーツ医・科学によるサポート体制の整備
- ④スポーツ顕彰制度の整備

II 地域で楽しむスポーツ

明るく豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、スポーツイベントの一層の活性化をはじめ、奈良県の豊かな地域資源を活かした地域で楽しむスポーツを推進します。



【指標と目標数値】

指標	現状 (H24)	10年後 (H34)
スポーツイベントの参加者数（総合型交流大会）	1,149人	10,000人
「奈良マラソン（フルマラソン）」に参加する奈良県民の人数	3,868人	5,000人

【基本施策】

1 参加型スポーツイベントの実施

- ①参加型スポーツイベントによるにぎわいづくり
- ②自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進

2 スポーツツーリズムの推進

- ①スポーツイベント、プロスポーツ観戦を活用した新たな観光メニューの開発
- ②南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの開発
- ③ウォーキング、ランニング、サイクリングなどのコース情報の発信

3 スポーツを支える新たな基盤整備

- ①スポーツを支え、盛り上げる体制の整備

III あこがれ・感動を生むスポーツ

県内外で活躍できるスポーツ選手を育成する体制の整備を進め、競技力の向上を図るとともに、スポーツの裾野を広げるために、人々にあこがれと感動を与えるプロスポーツなどの観戦の機会づくりに取り組めます。



【指標と目標数値】

指標	現状 (H24)	10年後 (H34)
国体の総合成績	35位	20位台
プロスポーツ等の試合数（有料観戦）	5試合	60試合

【基本施策】

1 競技力の向上

- ①選手・指導者等の発掘・育成強化に対する支援
- ②トレーニングサポート体制の整備

2 トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

- ①トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施
- ②企業、大学等有する人材の活用

3 プロスポーツなどの観戦の機会づくり

- ①プロスポーツなどの試合誘致
- ②地域、企業等との連携による支援体制の検討

IV スポーツ環境の整備

だれもがいつでも運動・スポーツに親しめるよう、既存施設の充実と活用を図るとともに、身近な公共施設等を有効に活用するための環境整備などを進めます。



【目標】

既存施設や学校体育施設等の有効活用をはじめ、身近に運動・スポーツに取り組める施設や設備の整備を進めることにより、「だれもがいつでも楽しめるスポーツ」の環境づくりを目指します。

【基本施策】

1 身近な公共施設等の活用

- ①まち中でのスポーツ環境の整備
- ②学校体育施設等の活用
- ③既存施設の機能拡大

2 既存スポーツ施設の活用方法の検討

- ①橿原公苑施設の計画的整備検討
- ②市町村施設等の検証・整備検討

3 新たなスポーツ施設の研究

- ①新たなスポーツ施設の研究